



小鳥用 屋内飼育ケージ

Easy Home Bird 60

イージーホーム・バード

取扱説明書

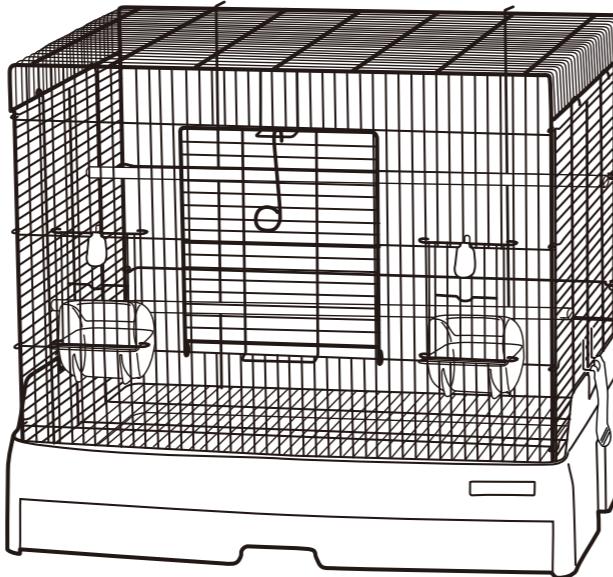
PAT 3910602号

この度は、当社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。

当社製品をご使用になる人、飼育する生き物、また別の人や品物への損害を未然に防ぐ為に次の説明をよく読んで正しくご使用下さい。
この説明書は大切に保管して頂き、必要な時にお読み下さい。

！ご注意 ご使用になる前に必ずお読み下さい。

- まず、内容部品を取り出し、部品やケージワイヤーパネルの接合部などに不具合（破損など）が無いか確認して下さい。又、樹脂成型品に関しても成型不良や破損（割れなど）が無いか確認して下さい。内容確認時に不良箇所を見ついた場合、初回の組み立て時の破損がございましたら、該当部品のお取替えをさせて頂きます。
- 本品は、小鳥（セキセイインコ・オカメインコ等）の屋内飼育用ケージです。他の目的、及び他の生き物には使用しないで下さい。
- 本品は、平坦で床面がしっかりと加重が支えられる場所に設置するようにして下さい。
- 本品中にはメタル（金属）パーツや樹脂成型パーツが含まれています。
- 組み立てや取り扱いの際は、手や指などを傷つけない様、またそれらのパーツを破損させない様、慎重・丁寧に扱って下さい。
- 小さなお子様が本体の上に乗ったり、中に入ったりしない様にして下さい。
また、スノコやトレイ、ワイヤーの隙間などに手や指など体の一部を入れたりしないように注意して下さい。
破損やケガをする恐れがあります。
- 直射日光の当たる場所や空調（暖房器具など）の風が直接当たる場所、火気の近くに置かないで下さい。生き物の死亡や火事、本体の変形や破損の恐れがあります。
- 組み立て後、本品内へ生き物を放す前に、必ずもう一度、各ワイヤー、樹脂成型部に異常が無いか、またロック部などが正しく機能するか確認して下さい。
- ご使用の際はワイヤーやスノコなどの隙間に生き物の手足や爪などが挟まらないか充分にチェックを行って下さい。
- ベースにトレイを奥までしっかりと収めるようにして下さい。トレイから汚れ等が床に漏れる恐れがあります。
- 本品を持ち上げて移動させる時は、中の生き物を外に出した上で、ワイヤーパネル部を持たずに受けベースより抱えて移動させて下さい。乱暴に移動せると、本体の破損や中に設置した用品の破損や、中の生き物のケガの要因となる場合があります。また、上から押さえつけるなど人の体重を掛けないようにして下さい。
- 掃除の際は、70℃以上のお湯は使用しないで下さい。樹脂が変形する恐れがあります。
また、シンナーやベンジンなどは使用しないで下さい。
- 生き物は種類や体格（体重やサイズ、翼や尾羽の長さ、子供や成体など）性質には個体差があります。
また、予測不可能な行動を起こす事があります。
- 飼育者の方（管理者）は、生き物の行動や性質をよく理解して、充分に観察し本品の使用範囲を超える場合や異常や危険を感じた場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- 尚、飼育時における事故等に関しては責任を負いかねますので予めご了承下さい。



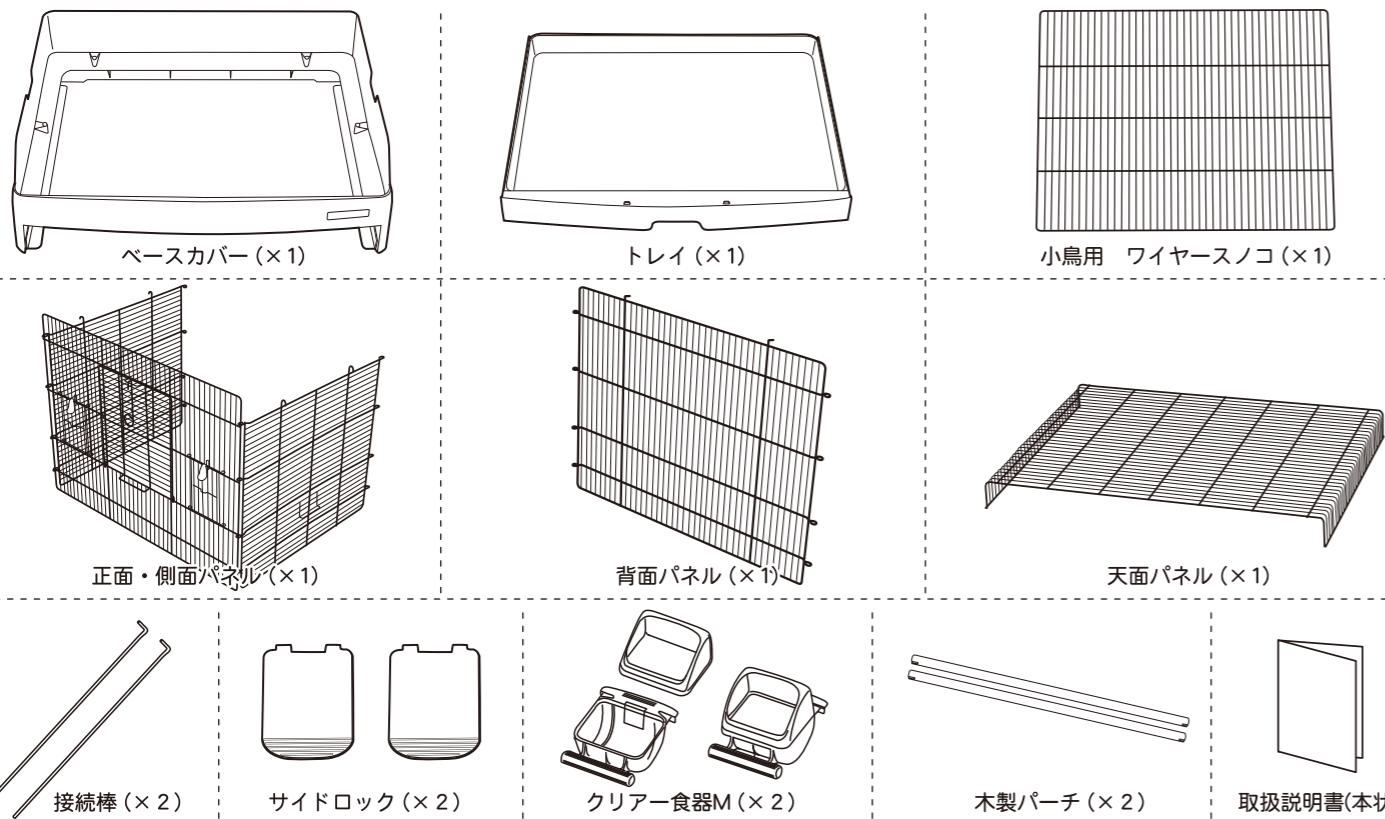
| 品目 | 小鳥用 屋内飼育用ケージ |
|------------------|---|
| 製品サイズ (組み立て時) | 幅620×奥行505×高さ540mm |
| 製品重量 | 約6.2kg |
| 原産国 | 中国 (MADE IN CHINA) |
| 主な材質 | スチール・PS・ABS・PP |
| 販売者 | 株式会社 三晃商會 〒562-0035 大阪府箕面市船場東2-3-54 TEL:072-728-3001 www.sanko-wild.com |

201908

飼育ケージは、100%安全な空間を提供できる物ではありません。

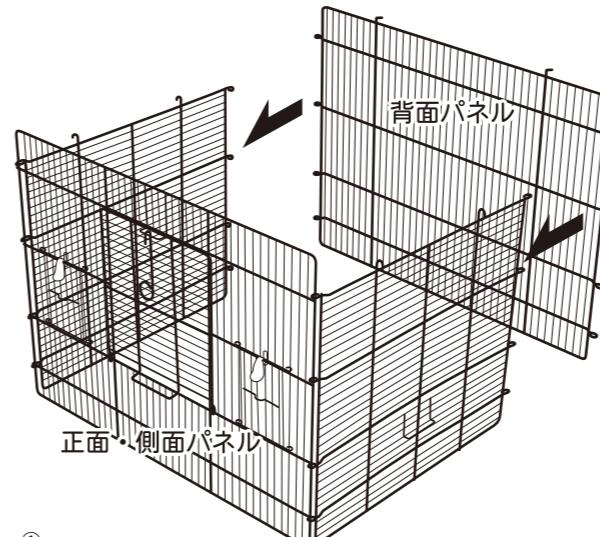
生き物は成長によって大きさが変化したり、四季や周囲の状況を通して様々に環境が変化します。
大切なペットの安全な飼育環境を常に保てるように充分な配慮をお願い致します。

パーティリスト 組み立ての前に、必ず全てのパーツが揃っているかご確認下さい。

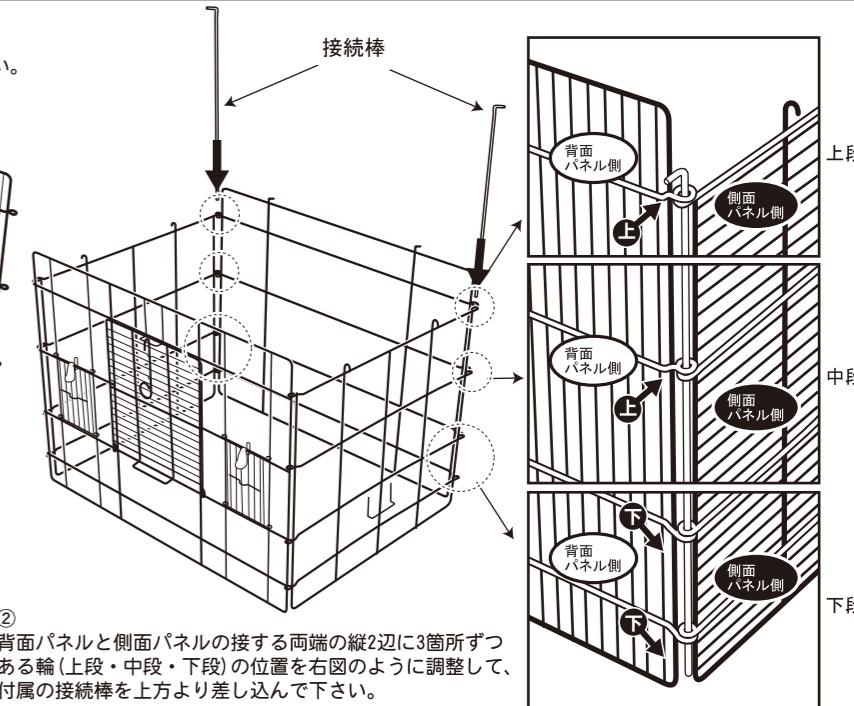


■組み立て方 ① : ケージワイヤーの組み立て

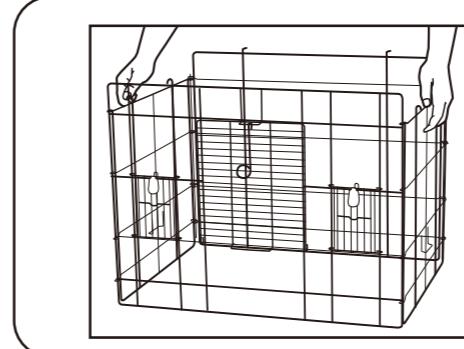
※必ず、床の平らな場所で組み立てて下さい。



① 「正面・側面パネル」を、コの字型に広げて置いて、「天井・背面パネル」を後ろから、合わせて下さい。



② 背面パネルと側面パネルの接する両端の縦2辺に3箇所ずつある輪（上段・中段・下段）の位置を右図のように調整して、付属の接続棒を上方より差し込んで下さい。

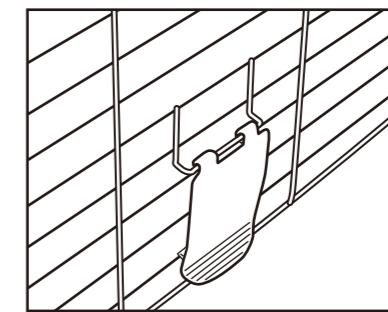
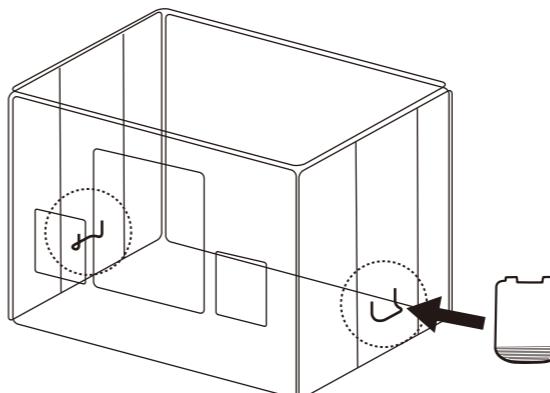


※接続の確認

2つの接続棒を差した状態で、一度軽く本体を持ち上げて見て、2辺の接続がズレないか確認をして下さい。

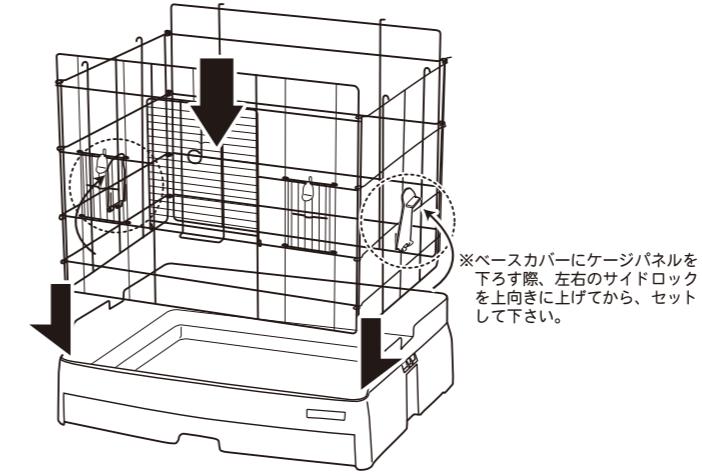
輪が大きくズレる様であれば、輪の上下位置が間違っておりますので、差し棒を抜き、再度輪の位置を確認してから入れ直して下さい。

■組み立て方 ② : サイドロックの取り付けとベースカバーへの設置

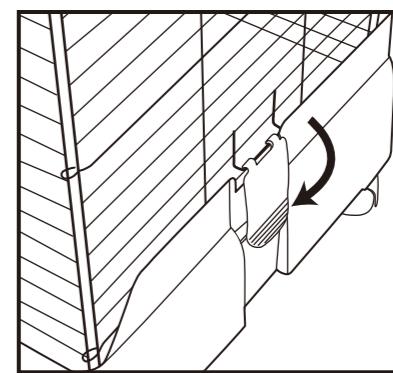


③ サイドロックを両側面パネルのワイヤーフック部「U」に上から引っ掛ける様にパチンとはめ込んで下さい。

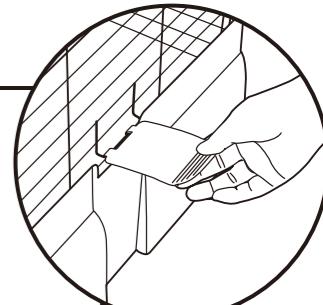
※ご注意 取り付けの際に、ワイヤーフックを強く引っ張るとフック部分が破損する恐れがあります。取り付け辛い場合は、サイドロックを傾けた状態で引っ掛け爪を片方ずつはめ込むと取り付け易くなります。



①組み上げたケージパネルを、ベースカバーの内側に上方よりそっと下ろしてセットして下さい。

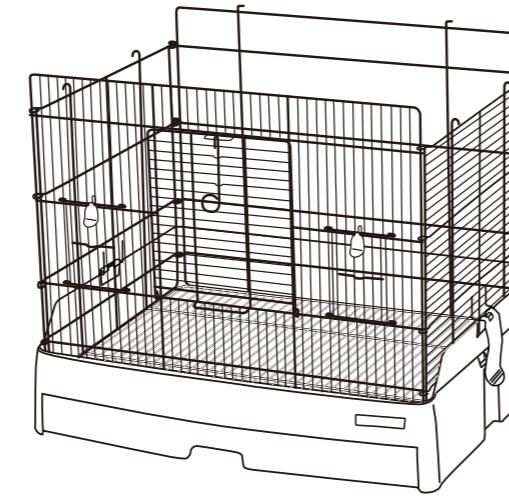
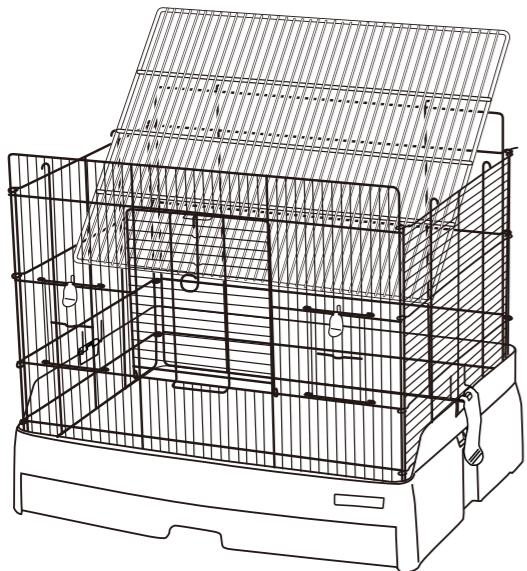


②サイドロックを下ろして、ベースカバー部にパチンとはめ込んでロックして下さい。



■組み立て方③：ワイヤースノコの設置

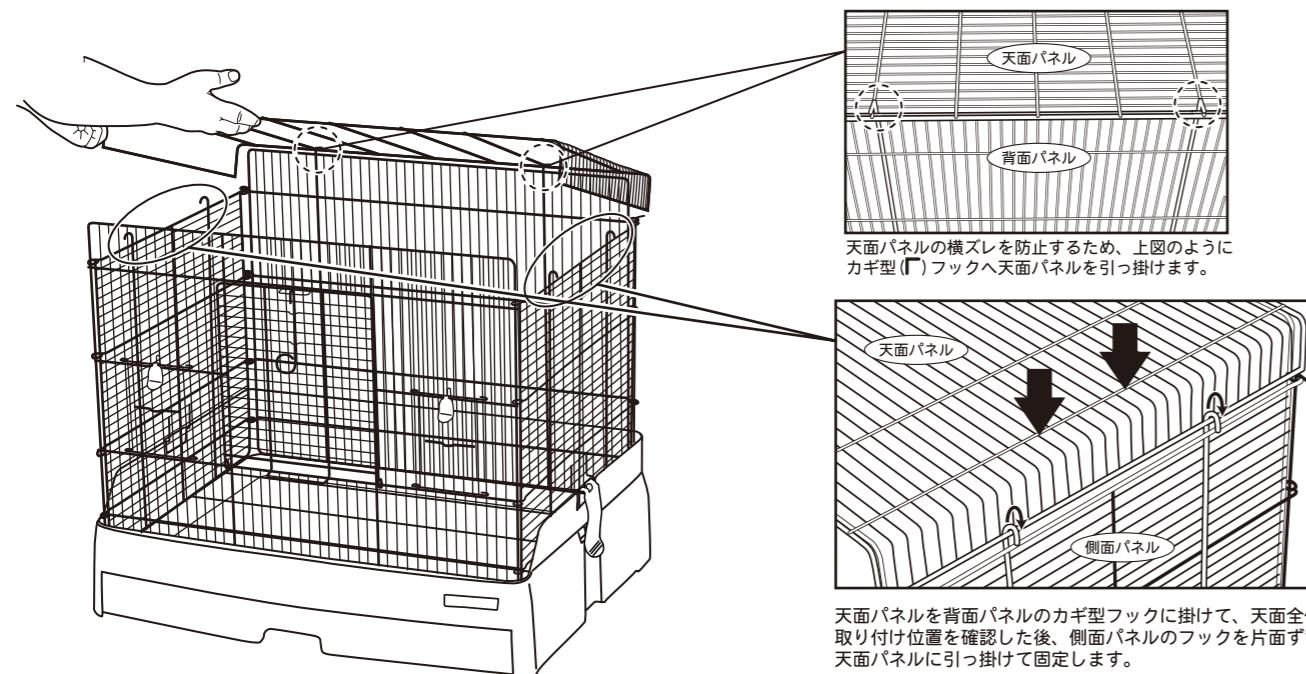
組み立てたケージの天井から、ワイヤースノコをケージ底部へ、水平になるように収めて下さい。



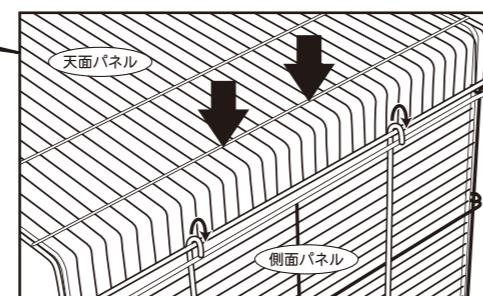
※通常のお手入れ時は、サイドロックを外してケージワイヤーを持ち上げ、ベースに乗ったスノコを取り出で下さい。
スノコを戻す際は、上部ケージワイヤーがスノコを押さえないように、ベースの中心に平行に置いて下さい。

■組み立て方④：天面パネルの取り付け

天面パネルを下図のように、背面パネルにあるフックに引っ掛けてから前背面・両側面の4面パネルの天を均等に重ね、側面パネルのフックに天面パネルを掛け、固定して下さい。



天面パネルの横ズレを防止するため、上図のようにカギ型(フック)へ天面パネルを引っ掛けます。



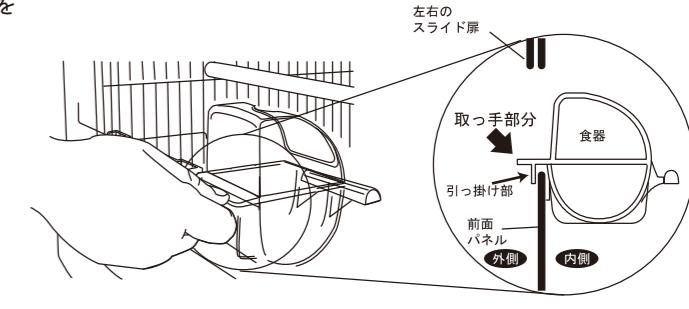
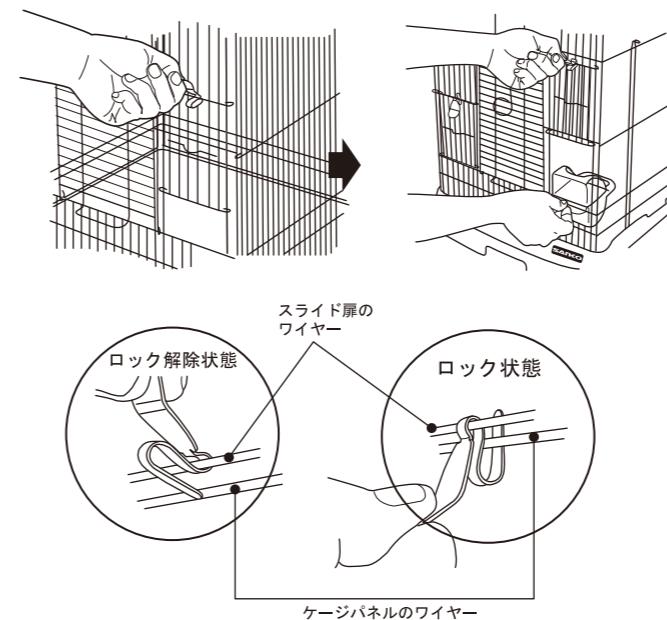
天面パネルを背面パネルのカギ型フックに掛け、天面全体の取り付け位置を確認した後、側面パネルのフックを片面ずつ天面パネルに引っ掛けで固定します。

※天面パネルの端の中ほど(図の矢印辺り)を上から押さえると、掛けやすくなります。

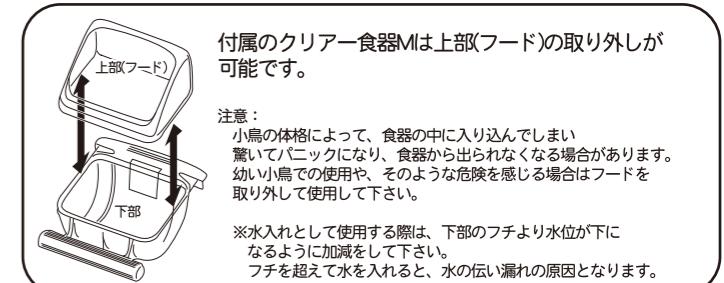
※特に側面フックに天面を取り付ける時は、指等をはさまない様に注意をして行って下さい。

■組み立て方⑤：食器の取り付け

付属のクリアーエンジニアード食器Mを、前面パネルの左右にあるスライド扉のロックを解除し、扉を上方にスライドさせて開け、取り付けて下さい。



スライド扉を開いた下枠に、クリアーエンジニアード食器Mの取っ手部分の下にある引っ掛け部を差し込むように引っかけて下さい。スライド扉を閉めると食器は固定されます。

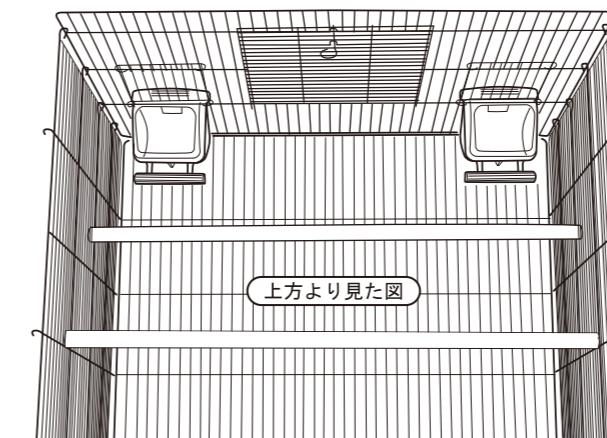


注意：
小鳥の体格によって、食器の中に入り込んでしまい驚いてパニックになり、食器から出られなくなる場合があります。
幼い小鳥での使用や、そのような危険を感じる場合はフードを取り外して使用して下さい。

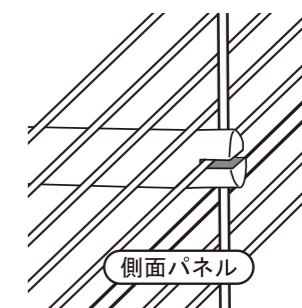
※水入れとして使用する際は、下部のフチより水位が下になるように加減をして下さい。
フチを超えて水を入れると、水の伝い漏れの原因となります。

■組み立て方⑥：パーチの取り付け

付属の木製パーチを、ケージの内側への適切な位置に取り付けて下さい。

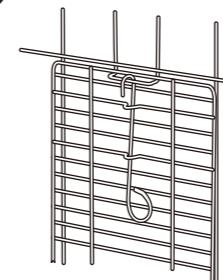


※ パーチは左右が平衡になるように取り付けて下さい。
※ 取り付け位置は、飼育の小鳥の種類や体格、ケージ内のレイアウトによって調整をして下さい。

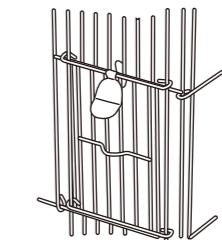


■組み立て方⑦：各部位確認チェック

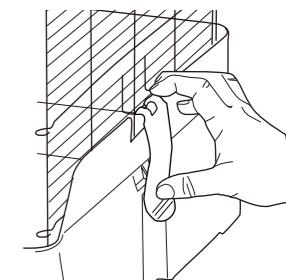
ケージ部の組み立てが終わりご使用の前に、扉部やサイドロック部、トレイ(奥まで差し込まれているか)や各部接続部など、正しくセットされているか、正常に作動するか確認をして安全を確かめて下さい。



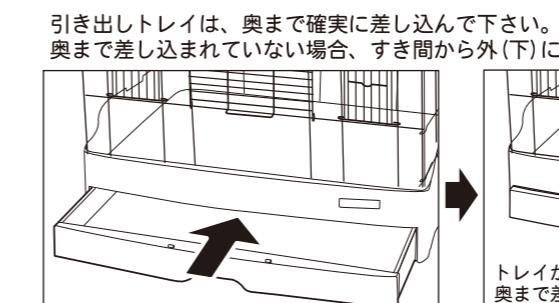
扉部ロック



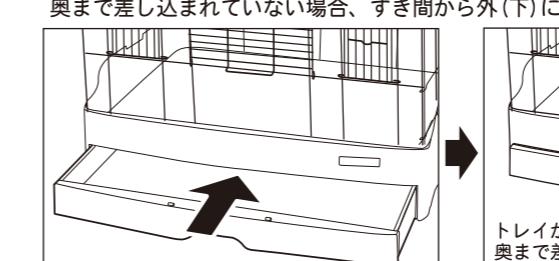
スライド扉部ロック



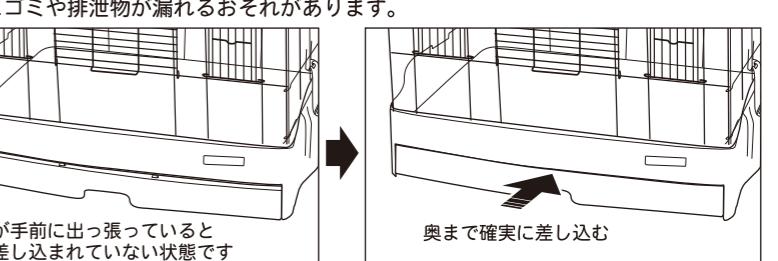
サイドロック



引き出しトレイは、奥まで確実に差し込んで下さい。
奥まで差し込まれていない場合、すき間から外(下)にゴミや排泄物が漏れるおそれがあります。



トレイが手前に出っ張っていると奥まで差し込まれていない状態です



奥まで確実に差し込む